



第728号 平成28年6月29日

陸上自衛隊 北部方面隊広報紙 発行：北部方面隊総監部広報室

総監要望事項 即 応 錬 信 磨 頼

北部方面隊 ホームページ http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/index.html

南スーダンへ向け出発

南スーダン派遣施設隊（第10次要員）

第7師団は、5月21日、東千歳駐屯地において、国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）派遣施設隊第10次要員の壮行会を実施した。

今回、派遣される第10次要員は、第7師団隷下の第11普通科連隊長、中力（ちゆりき）修一等陸佐を隊長に、第7師団を主体とした隊員約350名であり、約6カ月間にわたり、アフリカの南スーダン共和国の首都ジュバ及び周辺において国連施設の整備、道路補修、給水支援などを行うことを予定している。

21日の出国準備完了報告では、第7師団が所在する千歳市、恵庭市、北広島市の市長など約30名の来賓及び派遣隊員家族が参加して行われた。

出国準備完了報告を受けた熊田政務官は「これまで築いた国際社会からの高い評価を受け継ぎ、しっかりと職責を果たしてほしい」と訓示し、派遣隊員を激励した。

また、出国準備完了報告に先立ち行われた第7師団壮行会において、第7師団長田浦陸将は「今回の任務に従事することの意義を認識し、日本代

表としての誇りを胸に任務を遂行してほしい。第10次隊の諸官が、中力隊長を核として一丸となつて、南スーダン共和国のため、日本国のため、自衛隊のため、そして愛する家族のために任務を遂行し、無事帰国し、みな笑顔で無事帰国することをお祈りする」と訓示した。

22日、先発隊約130名の見送りが新千歳空港で行われ、北部方面隊総監部陸将、中央即応集団司令官川又陸将、第7師団長田浦陸将をはじめ、派遣元部隊長及び派遣隊員家族など、大勢が集まり先発隊の隊員を見送った。

さらに、6月1日及び6月15日の両日、主力が二波に分かれ、北部方面隊総監、第7師団長をはじめとする派遣元部隊長と家族に見送られながら、南スーダンへ向け出発した。



出国準備完了報告（東千歳駐屯地：5月21日）



先発隊見送り（5月22日）



出発前の家族との触れ合い（6月1日）



主力第2派見送り（6月15日）



主力第1波見送り（6月1日）



北部方面支援隊

熊本県各地方における災害活動の任務を完遂

平成28年熊本地震

4月17日から逐次、西部方面区に進出し、災害派遣活動を行っていた北部方面支援隊は、熊本県の大矢野原演習場に本部を設置し、大矢野原演習場、黒石原演習場、小郡駐屯地を拠点として、4月20日より、熊本県において支援活動を行っていたが、5月12日をもって、災害派遣活動を終了し、各部隊へ復帰した。

この間、北部方面支援隊長富樫将補の指揮の下、北海道から逐次に到着する各部隊の受け入れ、支援地域、支援任務等の統制・調整を行い、支援隊の活動基盤を確立し、各支援隊が現地ですばやく給水・給食・入浴並びにその他の多目的な支援を行える態勢を整えた。

20日の輸送支援隊による生活支援物資の輸送活動を皮切りに、21日から熊本市において、生活用水の給水活動を開始し、その後、熊本市、阿蘇市、南阿蘇村において、各師団生活支援隊が入浴施設を開設しての入浴支援及び直轄部隊による給食支援により、避難所等に避難している被災者の目線に立ったさまざまな活動を行った。

北部方面支援隊の活動は、5月3日以降の統合任務部隊の支援体制の一部見直しに伴い、入浴支援に縮小され、各師団の入浴支援隊が第8師団へ配属され、阿蘇市及び南阿蘇村において入浴支援活動を行った。5月9日、統合任務部隊の編成解組の命により、北部方面支援隊はその任を解かれたが、現地の入浴支援体制増強のため、第5旅団入浴支援隊は、引き続き、阿蘇市において入浴支援を継続し、5月12日をもってその活動を終了した。

災害派遣活動間、各部隊は、現地のニーズに基づき、被災者のため、それぞれの任務を完遂するとともに現地の復興に多大に貢献した。



給食支援



給水支援



現地の方から心温まるメッセージ



多目的支援



入浴支援



道路啓開

5.56m普通弾誤射事案に関するお詫び

この度の事案に関し、陸上自衛隊に対する地元自治体、関係機関、地域住民の方、道民、そして国民の皆様への信頼を失墜させたことを、北部方面総監として深くお詫び申し上げます。

今回の事故を発生させたことを重く受け止め、北部方面隊として陸上幕僚監部と連携し、事故調査委員会を設置し、全力で、徹底的に事実関係の調査、再発防止策の検討を実施して参りました。

北部方面隊としては、事故調査委員会の調査結果に基づいて案出した対策を確実に実施し、再発防止に万全を期すとともに、武器及び弾薬の厳正な管理並びに適切な使用について、隊員一人一人の意識改革を図り、道民、国民の皆様への信頼回復に努めて参る所存であります。

引き続きの御理解と御協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成28年度北部方面隊演習場春季定期整備 訓練最盛期に向け、訓練環境を維持・充実



重機を用いた射場整備 (北海道大演習場)

7師団

第7師団は、第1特科団、第1高射特科団の一部、北部方面混成団主力、北部方面衛生隊、北部方面対射撃隊の配属・支援を受け、北海道大演習場、上富良野演習場、然別演習場の春季定期整備を担任した。

道大演習場(恵庭・千歳地区)の春季定期整備を担当した。北海道大演習場は、戦術・増強中隊規模の機動と特科・戦車火力等を連携させた総合戦術力発揮が可能な訓練をより実戦的に行うために長期的な整備を計画しており、今回の整備では、主要幹線道路の整備や弾着地整備等機能維持のための整備の他、総合戦術射撃場の戦車の躍進路を拡張するとともに、平面化し、更に、視界を確保するための支障となる樹木の伐採を行い、実戦的な戦車射撃を可能とすべく整備を推進した。

2師団

第2師団は、第1特科団、第1高射特科団、北部方面後方支援隊の一部の配属・支援を受け、上富良野演習場及び鬼志別演習場の春季定期整備を担任した。



総監視 (鬼志別演習場)

上富良野演習場は、普通科部隊を主体とした戦術規模の近接戦術訓練と中距離の特科の射撃が可能な演習場であり、これらにより実戦的に行うため、5力年にわたり充実・整備を行う計画である。今回の整備は、機能維持のための整備を主体として、各射場の整備、主要幹線道路の整備及び弾着区域の整備を行い、訓練基盤を確立した。また、鬼志別演習場においても、主要幹線道路の整備を行い、訓練基盤を確立した。

11旅団

第11旅団は、第1特科団、北部方面混成団の一部、北部方面後方支援隊の主力、北部方面通信群、北部方面会計隊、北部方面音楽隊の配属を受け、北海道大演習場(恵庭・島松地区)の春季定期整備を担当した。北海道大演習場は、中距離の特科部隊の射撃が可能な演習場であり、より実戦的射撃訓練基盤の確立のため射撃の観測所の整備を計画しており、今年度の整備は、機能維持のための整備を主体として、各射場の整備、主要幹線道路の整備を行い、訓練基盤を確立した。



側溝の整備 (北海道大演習場)

5旅団

第5旅団は、第1特科団の一部の配属を受け、矢白別演習場及び然別演習場の春季定期整備を担当した。矢白別演習場は、日本で最大の規模を誇る演習場で、道内の師団規模の訓練はもとより、道外からの師団規模の転地訓練を受け入れ、これまで陸上自衛隊の練度向上に大きく寄与してきたが、今後も長期的に訓練環境を充実させ、大規模部隊の実戦的な訓練基盤を整備する計画であり、今回の整備では、幹線道路の整備や弾着地整備等の機能維持の整備の他、引き続き装軌車道の新設等を整備し、将来的に師団規模の部隊機動を容易にするための整備を着々と進行させた。



不発弾捜索 (矢白別演習場)

北部方面施設隊

北部方面施設隊は、5月8日から18日までの間、北海道大演習場、矢白別演習場の春季定期整備を担当した。方面施設隊は、北部方面隊最大の施設部隊であり、油圧ショベル、中型ドーザ、グレーダー等の施設器材やダンプ等の運搬力を駆使し、演習場整備の骨幹部隊として、北海道大演習場及び矢白別演習場の装軌車道の改修整備等、施設部隊の高い技術力をもって専門部隊ならではの緻密かつ大規模な整備を行った。



重機を用いた道路整備 (矢白別演習場)



道路傾斜改修工事 (北海道大演習場)



ブルーインパルス展示飛行 (旭川駐屯地)

方面隊では、4月末から各駐屯地において創立記念行事が行われた。各師団は、4月30日に第7師団創立61周年記念・東千歳駐屯地創立62周年記念行事、6月5日に第11旅団創立8周年・真駒内駐屯地創立62周年記念行事、6月19日に第2師団創立66周年・旭川駐屯地開設開庁64周年記念行事をそれぞれ所轄する駐屯地で行い、当日は多くの来場者で賑わった。

師団の他にも各部隊・各駐屯地では駐屯地を一般開放し、観閲式、観閲行進、訓練展示、祝賀会食、装備品展示、戦車などの体験試乗等を行った。観閲式典において、観閲部隊指揮官の号令指示で一糸乱れぬ威風堂々たる勇姿を来場者に披露し、北部方面隊の部隊・隊員の精強性を顕示する一方、装備品展示や体験試乗等において来場者と触れ合い、身近に存在する自衛官の側面も見せていた。各部隊・各駐屯地は、所在する自治体や協力団体等、そして、地域の皆様への平素からの協力に、対し感謝するとともに、より一層の信頼関係を積み上げ、任務に邁進することをあらためて誓う一日となった。



14機による編隊飛行 (丘珠駐屯地)



滝川市市中パレード (滝川駐屯地)



観閲行進 (東千歳駐屯地)



体験試乗 (鹿追駐屯地)



装備品展示 (美唄駐屯地)



格闘訓練展示 (真駒内駐屯地)

方面隊各駐屯地において創立記念行事

北部方面隊史
 我らここにのみて
 國安らかなり
 第8回

保安隊時代その2(成長)

保安隊の2本柱の一つとして発足した保安隊の当時の課題は、警察予備隊同様の人員及び装備品の充足にあった。人員については、定員増加に対する充足と任期満了者に対する補充の両面があり、これらは一般募集により逐次充足していった。警察予備隊当時は、本部職員として非制服職員が100名であったが、保安法で官房及び各局の職員として定員は290名に増加された。昭和27年度は、発足当時の11万人増員の充足とその補充として3万2千名が、昭和28年度は、7千名が、昭和29年度は、定員13万人への増加分も含め、約4万8千名が入隊した。

装備については、MSA(相互安全保障法)協定の締結によって貸与及び供与が行われ、逐次に充足されていった。さらに、装備品の一部が国産化されることになり、装備は充実され、警備力強化の基盤を固めていった。

教育訓練は、精神面に重点を置き、特に、徳操の涵養と精神教育の基盤を確立することを重視した。また、形式的かつ独自の教育方法に最善の努力が払われた。他方、実務面においては、最新の科学装備に必要な知識

及び技能の修得のため、着実に基礎を積み上げて行くことに重点をおいた。しかしながら野外における教育訓練は、当初貸与される装備の充足及び隊員の入隊・除隊等により、制約を受けることが多かった。

昭和27年度末期には、火砲や特車(戦車)等が逐次充足され、警察予備隊時代に実施できなかった普通科、特科、機甲科の各種部隊の訓練を開始できるまでに至り、管区隊(師団)の運用を概ね完成させていった。この頃、北部方面隊においては、研究演習、通信運用現地



警察予備隊(保安隊)当時の募集ポスター

研究演習が行われた。この中で、昭和29年4月、北部方面隊は、「交通路整備研究演習」を担当した。学校教育については、各学校の任務、編成、教育体系等について研修が進められ、教育内容及び教育効果向上のための研究が逐次に行われ、その整備も逐次に進められた。

保安隊当時の学校については、「図1」を参照

保安隊時代に設立された学校

学校名	目的	設置時期	教育内容
幹部学校	陸上自衛隊の部隊の上級幹部候補生として職務を遂行するために必要な知識・技能を修得させるとともに、大部隊運用に関する調査研究を行う。	昭和27年10月15日	高級課程 特別課程 指揮幕僚課程 幹部補給管理
航空学校	航空科に必要な知識・技能を修得させるとともに、航空科部隊運用等に関する調査研究を行う。	"	幹部課程 初級、中級、特級課程 陸曹課程 整備、航空通信、航空写真等
通信学校	通信科に必要な知識・技能を修得させるとともに、通信科部隊運用等に関する調査研究を行う。	"	幹部課程 初級、中級、特級課程 陸曹課程 無線・搬送・レーダ修理等
業務学校	警務科、会計科または人事業務管理に必要な知識・技能を修得させるとともに、警務科部隊運用等に関する調査研究を行う。	"	幹部課程 初級、中級、特級課程 陸曹課程 人事、会計、犯罪調査等
衛生学校	衛生科に必要な知識・技能を修得させるとともに、衛生科部隊運用等に関する調査研究を行う。	"	幹部課程 初級、中級、特級課程 陸曹課程 衛生看護、歯科、X線技術等

陸上自衛隊時代に設立された学校は、陸上自衛隊編で紹介

この様な中、保安隊は駐留軍の漸減に伴い、警察予備隊及び警備隊の自衛力を増強する必要性が生じてきた。そして、日米安保条約で期待された自衛力漸増の路線に沿って、保安隊の任務を改めて、保安隊の任務を改めてしようとする気運が盛り上がりつつあった。この間、数次に及ぶ折衝を重ね、昭和29年3月の閣議で「防衛庁設置案(自衛隊法案)」を正式に決定、国会に提出、防衛庁自衛隊の誕生へと進んだのであった。

北の駐屯地 その歩み

第26回 苗穂分屯地

苗穂分屯地は、札幌市の中心部から北東約3kmの東区苗穂町に所在しており、東西約500m、南北約200mと小規模の分屯地であります。

分屯地所在地域には、JR函館本線が走り、それと平行するように豊平川が悠然と流れ、ジョギング、散歩等が楽しめる河川敷があります。

分屯地の沿革は、明治41年に旧陸軍の糧秣(りょうまつ)本廠札幌派出所として開設、当時の軍馬の飼料である大麦やえん麦を集積、払い出す兵站施設でした。終戦後の昭和20年から25年まで、米軍の管理下になりましたが、昭和26年、第2管区総監部(現在の北部方面総監部)が移駐し、札幌駐屯地となり、第2管区総監部の札幌管



旧陸軍当時の司令部庁舎

分屯地は、北海道補給処唯一の施設器材の補給・整備を所掌する北海道補給処苗穂支処のほかに、第314基地通信中隊苗穂派遣隊、北部情報保全隊丘珠情報派遣隊、常駐、航空自衛隊第4補給処調達部札幌調達室の指揮系統の異なる4個の部隊等が所在しています。

地域との連携においては、苗穂連合町内会主催のレインボーフェスティバルやふれあい餅つき大会に協力するとともに、分屯地見学支援を実施して地域との一体化を深めています。

平成28年度オピニオンリーダー活動

自衛官候補生入隊式研修 第7師団創立記念行事研修

方面隊は、4月10日、方面隊オピニオンリーダー活動として、真駒内駐屯地において執り行われた第120教育大隊が担当する平成28年度自衛官候補生(女子)入隊式の研修を行いました。

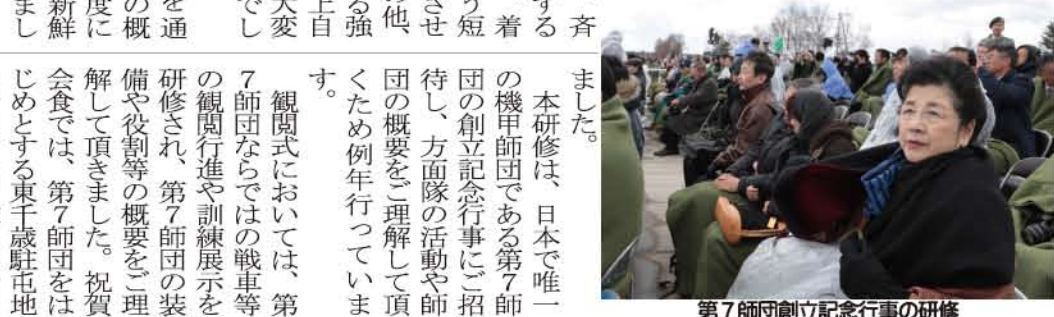
本研修は、陸上自衛隊の新隊員教育制度及び人材育成について概要を理解して頂き、各分野への情報発信の資として頂くことを目的として、陸上自衛隊の新隊員制度の説明に引き続き、前日に入隊した一般曹候補生の居



旧陸軍当時の倉庫群

分屯地は、北海道補給処唯一の施設器材の補給・整備を所掌する北海道補給処苗穂支処のほかに、第314基地通信中隊苗穂派遣隊、北部情報保全隊丘珠情報派遣隊、常駐、航空自衛隊第4補給処調達部札幌調達室の指揮系統の異なる4個の部隊等が所在しています。

地域との連携においては、苗穂連合町内会主催のレインボーフェスティバルやふれあい餅つき大会に協力するとともに、分屯地見学支援を実施して地域との一体化を深めています。



第7師団創立記念行事の研修

室の研修、入隊式の研修を行いました。

制度の説明においては、オピニオンリーダーからは「自衛官候補生はどのくらいが陸曹になれるのか」「精神教育とはどのような教育をするのか」などの質問があり、また、居室の研修においては10名1部屋で共同生活を行う隊員の姿を、実際に確認して頂き、共同生活の中で同期の絆や共に

助け合う精神が培われていくこと等の説明を受けました。

さらに、入隊式の研修では、大きな声で国歌を斉唱したり、斉一された行動で宣誓する姿を目の当たりにし、着隊から約1週間という短い期間で若者を成長させかつ、技能等の修得の他、国を守ることに対する強い信念も教育する陸上自衛隊の新隊員制度に大変感心された様子でした。

今回の研修を通じて、新隊員制度の概要のご理解と制度に関する貴重な新鮮なご意見を頂きました。

また、4月30日、東千歳駐屯地において第7師団創立記念行事を研修して頂きました。

本研修は、日本で唯一の機甲師団である第7師団の創立記念行事にご招待し、方面隊の活動や師団の概要をご理解して頂くため年行っています。

人生に潤いを与える言葉

『菜根譚』の語る人生訓は、森羅万象の自然界の現象と同じように人生の真の姿を対比して述べています。

水木落ちて石度せ煙枯れて、
 わずかに天地の真吾を見る。

(「菜根譚」・後集3)

即ち、(晩秋ともなれば)「山の木立の紅葉も落ち尽し、石の苔(こけ)は消え岸の木々も枯れた姿は、すべて着飾った姿を捨て去って、ももとの真実の姿を現したのであって、これこそ天地の本当の様子をみることが出来る」というのです。

この自然の現象は、須(すべから)く世間一般にも類(たぐ)いけるのではないのでしょうか。肩書きのある名刺を出せば、人は靡(なび)くのです。然し、定年退職後になって、肩書きがなくなったときこそ真実の姿がわかるのではないのでしょうか。

「菜根譚」に「素位の風光のみ、わずかに是れ個の安泰的の高業(たごせ)なり」(後集・60)と語っています。

いま、改めて「素位の風光」を味わい深く思うのです。

心健康相談 メンタルヘルス・カウンセラー 根本和雄



共に前へ

平成28年度陸上自衛隊北部方面隊創隊64周年記念行事

音楽まつり

NORTHERN ARMY MUSIC FESTIVAL

■出演：北部方面音楽隊 / 第2音楽隊 / 第5音楽隊 / 第7音楽隊 / 第11音楽隊
 北海自衛大隊 / 滝川しづき大隊
 ■共演：札幌国際大学ハンドベルクワイア

会場：ニトリ文化ホール 10/15(土) ■開場 17:00 ■公演 18:00
 札幌市中央区北1西12

お問い合わせ
 北部方面総監部広報室
 TEL: 011-511-7116 (内線) 2325

◎音楽まつり応募要領

- 往復はがきにご記入の上**8月24日(水)**必着にてご応募ください。
- はがき**1枚**で**2名様**までのご応募ができます。
(2名様応募の場合は②～⑤の内容を2名分ご記入ください)
- 重複の応募は無効**となります。
- 車いす席をご希望の方は⑥の下に『車いす席希望』とご記入ください。
- 個人情報、はがきの返信目的以外では使用しません。
- 応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
- ビン・カン・ペットボトルなどの飲食物の持ち込みは固くお断りします。
- 返送は、**9月下旬頃**となります。

注意事項 記載内容が十分でないはがきは、返信できない場合があります。シール等の貼付けはご遠慮ください。音楽まつりの入場券及び当選はがきは非売品です。営利目的では使用できません。

※往復はがき記載要領

〒000-0000

返信 申込者の氏名 申込者の住所

郵便往復はがき 〒064-8510 札幌市中央区南26条 西10丁目1-1 陸上自衛隊 北部方面総監部広報室 音楽まつり係 行

白紙

①住所
 ②氏名
 ③年齢
 ④性別
 ⑤電話番号
 ⑥応募のきっかけ (番号を記入)
 1:ポスター・チラシ
 2:知人からの誘い
 3:インターネット
 4:その他()

■お問い合わせ■
 北部方面総監部広報室
 TEL:011-511-7116 (内線) 2325

自衛官募集ホームページ Japan Self Defense Forces

0120-063792

WEBコミック「さむらい物語」

ある老社会員が懐かしく思い出す、自衛官だった頃の鮮烈な日々...

自衛官という仕事から青年が得た経験を描く、フルカラーWEBコミックです。今後も更新してまいりますので、どうぞお楽しみに。

自衛官募集HP WEBコミック「さむらい物語」

自衛官募集HPに、「さむらい物語」というフルカラーWEBコミックが掲載されています。現在は、PART1及び2が掲載されており、今後も更新されていく予定です。まずはご自身で確認していただき、いろんなところで話題にしていれば幸いです。



平成28年度自衛官等募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生(男子)	18歳以上27歳未満の男子	年間を通じて行っております。	札幌: 8月27日(土)・28日(日) 9月19日(月)～21日(水) 23日(金)・24日(土) 27日(火)～29日(木) 旭川: 9月 2日(金)・3日(土) 18日(日)・19日(月)・21日(水) 24日(土)・26日(月)・28日(水) 函館: 9月10日(土)～12日(月)・19日(月) 20日(火)・24日(土)・25日(日) 帯広: 9月24日(土)・25日(日) 28日(水)～30日(金)	合格発表は試験日にお知らせします。
自衛官候補生(女子)	18歳以上27歳未満の女子		9月23日(金)～27日(火) ※いずれか1日を指定されます。	11月4日(金)
航空学生	高卒(見込)21歳未満の男女	7月 1日(金)～ ※1 9月 8日(木)	1次: 9月22日(木) 2次: 10月15日(土)～20日(木) 3次: 11月12日(土)～12月15日(木)	1次: 10月7日(金) 2次: 海 11月9日(水) 空 11月4日(金) 最終: 29年1月23日(月)
一般普候補生	18歳以上27歳未満の男女		1次: 9月16日(金)・17日(土) 2次: 10月6日(木)～12日(水) ※いずれか1日を指定されます。	1次: 9月30日(金) 最終: 11月11日(金)
推薦	※2	9月 5日(月)～ 9月 8日(木)	9月24日(土)・25日(日) 1次: 9月24日(土) 2次: 10月29日(土)・30日(日)	10月28日(金) 1次: 10月14日(金) 最終: 11月25日(金)
防衛医科大学 総合選抜	高卒(見込)21歳未満の男女 (自衛官は23歳未満)	9月 5日(月)～ 9月30日(金)	1次: 11月5日(土)・6日(日) 2次: 12月6日(火)～10日(土)	1次: 11月25日(金) 最終: 29年1月20日(金)
防衛医科大学 一般(前期)	高卒(見込)21歳未満の男女 (自衛官は23歳未満)	29年1月21日(土)～ 1月27日(金)	1次: 29年2月18日(土) 2次: 29年3月10日(金)	1次: 29年3月3日(金) 最終: 29年3月17日(金)
防衛医科大学 一般(後期)	高卒(見込)21歳未満の男女	9月 5日(月)～ 9月30日(金)	1次: 10月29日(土)・30日(日) 2次: 12月14日(水)～16日(金) 1次: 10月15日(土) 2次: 11月26日(土)・27日(日)	1次: 11月30日(水) 最終: 29年2月15日(水) 1次: 11月11日(金) 最終: 29年2月3日(金)

※1: 8月1日(月)から7月1日(金)に変更になっております。
 ※2: 高卒(見込)21歳未満の男女で、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者
 ◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。

札幌地方協力本部 011(631)5472
 旭川地方協力本部 0166(51)6060
 函館地方協力本部 0138(53)6241
 帯広地方協力本部 0155(23)5882

編集後記

季節も6月に入り、北海道も初夏の過ごしやす季節となりました。道内各地で祭りやイベントなどが開催され、道内外から多くの観光客が訪れる観光シーズンでもあります。◆北海道の夏の風物詩といえば、道内各地で行われるビアガーデンです。札幌大通り公園のビアガーデンが有名で、昭和34年に初お目見えしたこのビアガーデンは、今年で半世紀以上の歴史を重ねています。札幌に限らず、北海道の短い夏の日を楽しみつつ、ジンギスカンなどに舌鼓を打ちながら、屋外で飲むビールを毎年楽しみにされている道民の皆様は多くいることでしょう。◆北海道には、古くから伝わる伝統的な行事もあれば、ビアガーデンのように近年に発展し、北海道の風物詩と呼ばれるまでに成長したイベントなどがあります。この間、時代の変化などにより、途絶えた行事は数多くあるはずですが、しかしながら、古からの伝統行事は、時代の変化にも柔軟に対応し、現代に伝わり続けています。理由の一つに、これらが日本人として残すべき伝統やDNAであるということが挙げられるでしょう。◆方面隊も昭和27年の創隊以来、本年度64年が経ちました。体制改革を推進する中、唯一バランスのとれた方面隊として、今一度原点に立ち返り、陸上自衛隊として、変化させてはならない本質的な事項、いわゆる陸自DNAを継承させ、精強かつ信頼される方面隊を目指します。